

安城市地域福祉計画策定のための市民アンケート調査

～アンケート調査ご協力のお願い～

市民のみなさまには、日ごろから市政に関してご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

安城市では、「高齢者や障害のある人、子どもだけでなくすべての人や事業者などが、お互いに支え合い自分らしく暮らせる地域福祉」をより一層推進することを目指し、平成31年度に「第4次 安城市地域福祉計画」を策定しました。

計画策定後、地域を取り巻く社会状況や市民のみなさまの日常生活における課題も変化しており、また、第4次計画が期間満了となることに伴い、計画の見直しを進めているところです。

この「市民アンケート調査」は、計画の見直しにあたり、市民のみなさまにご意見をいただき、計画策定のための貴重な資料として使わせていただくために実施するものです。

調査対象は18歳以上の市民を対象とし、実際の年齢構成を勘案しつつ3,000人の方を無作為に選ばせていただき、実施することにいたしました。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、上記趣旨をご理解の上、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートの調査結果は、すべて統計的に処理いたしますので、**個人が特定されたりすることは決してありません**。また、アンケート目的以外には使用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

安城市長 神谷学

回答期限:令和4年12月5日(月)

〈回答方法〉

- 回答期限までに、①又は②のどちらかの方法でご回答ください。

①Webページから入力

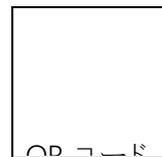
右のQRコードからWebページにアクセスし、ご回答ください。

Webでご回答いただいた方は、本調査票の郵送は不要です。

(Webシステムの管理は、一般社団法人地域問題研究所に委託しています。)

②調査票に記入

調査票に回答を直接記入し、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご投函ください。



〈回答にあたって〉

- 回答は、封筒あて名のご本人にお願いします。ただし、ご本人が何らかの事情で答えられない場合は、ご家族と相談のうえお答え下さい。

〈問合せ先〉

安城市役所 福祉部 社会福祉課 (担当:柴田、山田)

TEL: 0566-71-2262 (直通)



あなた自身やご家族のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|------|------|---------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 回答しない |
|------|------|---------|

問2 あなたの年齢についてお答えください。(令和4年10月1日現在の満年齢)
(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 18歳から29歳まで | 6 65歳から69歳まで |
| 2 30歳から39歳まで | 7 70歳から74歳まで |
| 3 40歳から49歳まで | 8 75歳から79歳まで |
| 4 50歳から59歳まで | 9 80歳以上 |
| 5 60歳から64歳まで | |

問3 あなたの世帯では、どのような方が同居されていますか、(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1 小学校入学前の子ども | 6 65～74歳以上の高齢者 |
| 2 小学生 | 7 75歳以上の高齢者 |
| 3 中学生 | 8 1～7のような同居人はいない
(単身世帯を含む) |
| 4 高校生 | |
| 5 大学生・大学院生・専門学校生 | |

問4 あなたの世帯のタイプは次のうちどれに該当しますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|------------|
| 1 ひとり暮らしの世帯 | 5 兄弟や親戚と同居 |
| 2 夫婦のみの世帯 | 6 友人や知人と同居 |
| 3 二世帯世帯(親と子) | 7 その他 |
| 4 三世帯世帯(親と子と孫) | (具体的に) |

問5 あなたのお住まいの中学校区をお答えください。(○は1つだけ)

中学校区がわからない方は、「9 わからない」を選択し()内に町名を記入してください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1 安城南中学校区 | 6 東山中学校区 |
| 2 安城北中学校区 | 7 安祥中学校区 |
| 3 明祥中学校区 | 8 篠目中学校区 |
| 4 安城西中学校区 | 9 わからない |
| 5 桜井中学校区 | (町名:) |

福祉に関する意識について

問6 現在のあなたと福祉との主な関わりは次のどれですか。(○は1つだけ)

- 1 福祉関係の事業所で仕事をしている
- 2 ボランティアまたはNPO(特定非営利活動法人)活動をしている
- 3 地域で福祉活動をしている(町内会の役員や町内福祉委員会委員、子ども会等も含む)
- 4 福祉サービスを利用している
- 5 家族の介護等をしている
- 6 関わりはない
- 7 その他(具体的に)

問7 あなたは福祉に関してどのような情報を知りたいですか。

(あてはまるものすべてに○、ない場合は8に○)

- 1 健康づくりについての情報
- 2 子育てについての情報
- 3 高齢者についてのサービス情報
- 4 障害者(児)についてのサービス情報
- 5 ボランティアやNPOなどの市民活動、企業の社会貢献活動についての情報
- 6 生きがいづくり(講座、教室、サークル活動など)についての情報
- 7 その他(具体的に)
- 8 今は特になし

問8 あなたは、現在、福祉に関する情報(問8の選択肢参照)がどの程度入ってきているとお考えですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1 十分入ってきている | 4 全く入ってこない |
| 2 まあまあ入ってきている | 5 わからない |
| 3 あまり入ってこない | |

問9 あなたは福祉に関する必要な情報(問8の選択肢参照)をどこから得ていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1 市の広報紙
「広報あんじょう」・ウェブサイト | 10 民生委員・児童委員 |
| 2 社会福祉協議会の広報紙
「社協だより」・ウェブサイト | 11 新聞・雑誌 |
| 3 地区社会福祉協議会の広報紙 | 12 テレビ・ラジオ |
| 4 市役所(支所)の窓口 | 13 友人や近所の方 |
| 5 社会福祉協議会の窓口 | 14 インターネット(ネット検索情報) |
| 6 地域包括支援センター | 15 パソコンやスマホのメール |
| 7 福祉施設 | 16 SNS(フェイスブックやLINEなど) |
| 8 福祉サービス事業所 | 17 その他 |
| 9 町内会の回覧板 | (具体的に) |
| | 18 特に福祉に関する情報を得ていない |

問10 あなたにとって、福祉に関する情報(問8の選択肢参照)をより得やすくするためには、どの情報発信を充実してほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1 市の広報紙
「広報あんじょう」・ウェブサイト | 10 民生委員・児童委員 |
| 2 社会福祉協議会の広報紙
「社協だより」・ウェブサイト | 11 新聞・雑誌 |
| 3 地区社会福祉協議会の広報紙 | 12 テレビ・ラジオ |
| 4 市役所(支所)の窓口 | 13 友人や近所の方 |
| 5 社会福祉協議会の窓口 | 14 インターネット(ネット検索情報) |
| 6 地域包括支援センター | 15 パソコンやスマホのメール |
| 7 福祉施設 | 16 SNS(フェイスブックやLINEなど) |
| 8 福祉サービス事業所 | 17 その他
(具体的に) |
| 9 町内会の回覧板 | 18 特に福祉に関する情報を得ていない |

あなたの日常生活、将来の暮らしについて

問11 あなたは地域での付き合い(近所づきあい)をどの程度していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 よく付き合っている | 4 全く付き合っていない |
| 2 ある程度付き合っている | 5 わからない |
| 3 あまり付き合っていない | |

問12 地域での付き合い(近所づきあい)は、どの程度が望ましいと思いますか。
(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1 住民全ての間で困ったときに互いに助け合う |
| 2 気の合う住民の間で困ったときに助け合う |
| 3 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民がみんなで行事や催しに参加する |
| 4 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民の間で世間話や立ち話をする |
| 5 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民の間であいさつを交わす |
| 6 地域での付き合いは必要ない |
| 7 その他(具体的に) |
| 8 わからない |

問13 あなたは、近所の人から頼みごとをされたり、お手伝いしたりすることがありますか。
(○は1つだけ)

1 ある

2 ない

→【問14】へ

問13-1 問13で「1 ある」を選んだ人におたずねします。

それは、どのような手伝いですか。(あてはまるものすべてに○、ない場合は1 2に○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 日頃の声かけ・見守り | 8 介護の相談 |
| 2 話し相手 | 9 関係機関の紹介(情報提供) |
| 3 買い物 | 10 災害時などの緊急時の支援 |
| 4 ゴミ出しや掃除などの家事 | 11 その他 |
| 5 病院・学校などへの送り迎え | (具体的に) |
| 6 短時間の子どもの預かり | 12 特にない |
| 7 子育ての相談 | |

問14 毎日の暮らしの中で、次のどのようなことで悩みや不安を感じていますか。
(○は3つまで、ない場合は1 0に○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 自分や家族の健康に関すること | 7 近所付き合いに関すること |
| 2 子育てに関すること | 8 災害に関すること |
| 3 介護に関すること | 9 地域の治安に関すること |
| 4 自分や家族の仕事に関すること | 10 特にない |
| 5 お金(収入や家計)に関すること | 11 その他 |
| 6 生きがいや将来に関すること | (具体的に) |

問15 10年後のあなたご自身やあなたの家族の状況を考えた場合、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことで悩みや不安を感じていると思われますか。
(○は3つまで、ない場合は1 0に○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 自分や家族の健康に関すること | 7 近所付き合いに関すること |
| 2 子育てに関すること | 8 災害に関すること |
| 3 介護に関すること | 9 地域の治安に関すること |
| 4 自分や家族の仕事に関すること | 10 特にない |
| 5 お金(収入や家計)に関すること | 11 その他 |
| 6 生きがいや将来に関すること | (具体的に) |

問16 毎日の暮らしの中で困ったり不安を感じたときに、家族や親族以外では、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○、不明の場合は14に○)

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 民生委員・児童委員 | 9 警察 |
| 2 町内会の役員 | 10 社会福祉協議会 |
| 3 近所の人 | 11 福祉サービス事業所 |
| 4 知人・友人 | 12 ボランティア・NPOなど |
| 5 職場の同僚・上司 | 13 その他 |
| 6 行政(市役所など) | (具体的に) |
| 7 学校や保育所など | 14 どこに相談したらよいかわからない |
| 8 医療機関 | |

問17 あなたは、ご近所(家族は除く)で、以下の様な生活課題を抱えた人を見聞きしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○、不明の場合は16に○)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1 認知症の方 | 10 ダブルケア
(子育てと家族の介護を同時に担っている方) |
| 2 高齢者や障害者への虐待 | 11 老老介護・認認介護
(老老介護は高齢者の介護を高齢者が行うこと。認認介護は高齢の認知症患者の介護を認知症である高齢の家族が行うこと) |
| 3 子どもへの虐待 | 12 病気がちな単身高齢者 |
| 4 DV(配偶者等からの暴力) | 13 生活困窮者・世帯 |
| 5 子どもの貧困 | 14 薬物依存症・アルコール依存症の方 |
| 6 引きこもり | 15 その他
(具体的に) |
| 7 ニート(何もしようとしなない若者) | 16 見聞きしたことはない |
| 8 8050問題
(80代の親が50代の子の生活を支えている世帯) | |
| 9 ヤングケアラー
(家族の介護をする18歳未満の子ども) | |

問18 地域で、ひとり暮らし高齢者、介護や病気、子育てなどで困っている世帯があったら、あなたにできることは何ですか。(○は3つまで ない場合は13に○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 日頃の声かけ・見守り | 8 介護の相談 |
| 2 話し相手 | 9 関係機関の紹介(情報提供) |
| 3 買い物 | 10 関係機関へつなげる |
| 4 ゴミ出しや掃除などの家事 | 11 災害時などの緊急時の支援 |
| 5 病院・学校などへの送り迎え | 12 その他
(具体的に) |
| 6 短時間の子どもの預かり | |
| 7 子育ての相談 | 13 特にない |

問19 あなた自身やあなたのご家族が、介護や病気、子育てなどで困った時、以下に示したようなことを、地域の人たちに支援してほしいですか。

(○は3つまで ない場合は13に○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 日頃の声かけ・見守り | 8 介護の相談 |
| 2 話し相手 | 9 関係機関の紹介(情報提供) |
| 3 買い物 | 10 関係機関へつながる |
| 4 ゴミ出しや掃除などの家事 | 11 災害時などの緊急時の支援 |
| 5 病院・学校などへの送り迎え | 12 その他 |
| 6 短時間の子どもの預かり | (具体的に) |
| 7 子育ての相談 | 13 特にない |

問20 市内には、さまざまな分野の困りごとの相談窓口がありますが、次のうち、ご存じの相談窓口はありますか。(あてはまるものすべてに○)。

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1 地域包括支援センター | 5 保健センター |
| 2 特定相談支援事業所
(障害者基幹相談支援センター) | 6 教育センター |
| 3 子育て支援センター | 7 その他 |
| 4 子ども発達支援センター | (具体的に) |

地域活動、ボランティア活動について

問21 この1年間で、あなたは、防犯や防災、お祭りなど地域の行事等に参加しましたか。
(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 ほとんど参加してきた | 5 参加したことがない → 【問22】へ |
| 2 たまに参加してきた | |
| 3 コロナ禍がなければ参加していた | |
| 4 あまり参加していない | |

問21-1 問21で「1 ほとんど参加してきた」「2 たまに参加してきた」「3 コロナ禍がなければ参加していた」「4 あまり参加していない」のいずれかを選んだ人におたずねします。

●それはどのような活動団体の行事でしたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1 町内会 | 8 ボランティアグループ |
| 2 町内福祉委員会 | 9 地区社会福祉協議会・福祉センター |
| 3 子ども会 | 10 公民館の行事 |
| 4 学校・PTA | 11 福祉サービス事業所 |
| 5 青年団 | 12 JA、企業 |
| 6 消防団 | 13 その他 |
| 7 老人クラブ | (具体的に) |

問22 現在、あなたは、次の（ア）～（サ）のような地域福祉活動やボランティア・NPO等の活動に関わっていますか。また、今後関わっていききたいですか。（ア）～（サ）の項目それぞれについて、1～6の該当する番号を1つだけ選んで○をつけてください。

	選択肢（※該当する1～6の番号に○印）					
	現在参加している		これまで参加したことがあるが、今はやめている		これまで参加したことはない。	
	今後も続けていきたい	今後はやめたい	今後また関わってみたい	今後もうまく関わるとは思わない	今後は関わってみたい	今後もうまく関わるとは思わない
(ア) 防火・防災	1	2	3	4	5	6
(イ) 防犯・交通安全	1	2	3	4	5	6
(ウ) 子育ての支援や子どもの見守り活動	1	2	3	4	5	6
(エ) 福祉施設・医療機関でのボランティア活動	1	2	3	4	5	6
(オ) 障害者の支援	1	2	3	4	5	6
(カ) 高齢者介護の支援（見守り・サロン活動等）	1	2	3	4	5	6
(キ) 家族介護をしている人への支援	1	2	3	4	5	6
(ク) 健康づくり	1	2	3	4	5	6
(ケ) 生活困窮者に関すること	1	2	3	4	5	6
(コ) 子どもの貧困に関すること	1	2	3	4	5	6
(サ) 若者のひきこもりの問題	1	2	3	4	5	6

問23 今後のあなたの暮らしや今後予想される地域社会の状況を踏まえると、今後、どのような地域の福祉活動（町内会等の地域福祉活動やボランティア・NPO等の活動）を充実していくべきと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

1 防火・防災	9 生活困窮者に関すること
2 防犯・交通安全	10 子どもの貧困に関すること
3 子育ての支援や子どもの見守り活動	11 若者のひきこもりの問題
4 福祉施設・医療機関でのボランティア活動	12 複合的な課題※を抱えている人への支援
5 障害者の支援	13 わからない
6 高齢者介護の支援（見守り・サロン活動等）	14 その他
7 家族介護をしている人への支援	〔 具体的に 〕
8 健康づくり	

◆社会福祉協議会とは◆

※ 8050 問題（80 代の親が 50 代の子どもの生活支援を行う問題）、ダブルケア（育児と介護の同時ケア）、ヤングケアラー（家事・家族の世話などを日常的に行う子ども）といった、世帯に起こりうる、複合的な課題のこと。

問24 あなたは、定年退職後などの高齢期を主にどのように過ごしたいとお考えですか。
(○は3つまで) ※既に高齢期を迎えておられる方もご回答ください。

- 1 経済的に自立するために、現役同様に働きたい
- 2 収入にこだわらないが、働くことは継続していきたい
- 3 趣味や余暇を楽しみたい
- 4 知識や教養を高め自分自身の向上に努めたい
- 5 地域に貢献できるようなボランティア活動などをしたい
- 6 特に何もしないでのんびりと過ごしたい
- 7 その他(具体的に)
- 8 わからない

町内福祉委員会について

◆町内福祉委員会◆

安城市では、町内会を単位として町内福祉委員会という組織が立ち上げられ、住民の皆さんによる福祉活動が進められています。

(活動例)

- ・ふれあいいいききサロン、世代間交流事業の実施
- ・福祉だよりの発行
- ・見守り活動
- ・福祉や介護などに関する勉強会などの開催
- ・要支援者への支援
- など

問25 町内福祉委員会についてどの程度ご存知ですか。(○は1つだけ)

- 1 町内福祉委員会の活動内容を知っている
- 2 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない
- 3 町内福祉委員会について知らない

問25-1 問25で「1 町内福祉委員会の活動内容を知っている」を選んだ人におたずねします。

●町内福祉委員会の活動についてどのぐらいかかわっていますか。(○は1つだけ)

- 1 積極的に活動している
- 2 依頼があれば活動している
- 3 行事などには参加している
- 4 ほとんどかかわっていない

問26 今後、町内福祉委員会による活動に参加する機会があれば、参加したいと思いますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|---------|
| 1 参加したい | 4 わからない |
| 2 できれば参加したい | |
| ●3 参加したくない | |

問26-1 問26で「3 参加したくない」を選んだ人におたずねします。

●参加したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 興味や関心がないから | 6 自分の趣味や余暇活動を優先したいから |
| 2 機会がないから | 7 現在の活動内容に不満だから |
| 3 自分の生活で精一杯だから | 8 活動の内容や方法がわからないから |
| 4 仕事が忙しくて余裕がないから | 9 その他 |
| 5 やりたい活動がないから | (具体的に) |

社会福祉協議会、地区社会福祉協議会（地区社協）について

問27 安城市社会福祉協議会をご存知ですか。(○は1つだけ)

- | |
|------------------------------|
| 1 どんな活動をしているか大体知っている |
| 2 どんな活動をしているか少し知っている |
| 3 聞いたことはあるが、どんな活動をしているかは知らない |
| 4 まったく知らない |

◆社会福祉協議会とは◆

社会福祉法に基づいて地域福祉推進の中核としての役割を担う民間の団体です。
各種の福祉サービスや相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力など、全国的な取り組みから地域の特性に応じた活動まで、さまざまな場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。

問28 市内8中学校区ごとに、地区社会福祉協議会（地区社協）が地域福祉の推進組織としてありますが、どの程度ご存知ですか。(○は1つだけ)

- | |
|------------------------------|
| 1 どんな活動をしているか大体知っている |
| 2 どんな活動をしているか少し知っている |
| 3 聞いたことはあるが、どんな活動をしているかは知らない |
| 4 まったく知らない |

◆地区社会福祉協議会とは◆

地域住民の福祉活動への参加や福祉のまちづくりを進めるため、安城市においては、概ね中学校区を単位として設立されています。事務局を福祉センターに置き、地域の福祉活動にかかわる方々を構成員として、町内福祉委員会の活動の支援をはじめ、地区内における福祉に関する事業や講座、相談などを行っています。

今後の行政等による地域福祉施策について

問29 今後、市は、以下のどの地域福祉関連施策を優先して充実すべきだと思いますか。
(○は2つまで)

- 1 地域活動やNPO・ボランティアなどの参加促進や活動支援
- 2 身近なところでの相談窓口の充実
- 3 高齢や障害によって介護が必要になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実
- 4 様々な生活課題を抱える住民を包括的に支援するための関係機関の連携強化
- 5 保健福祉に関する情報提供や制度案内の充実
- 6 健康増進・維持のための相談や訪問指導などサービスの充実
- 7 健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実
- 8 サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取組み
- 9 福祉教育の充実
- 10 高齢者、障害者の入所施設の充実
- 11 保育や居場所づくりなど、子育てに関するサービスや活動の充実
- 12 児童福祉施設の充実
- 13 低所得者の自立支援
- 14 災害時における避難行動要支援者に関わる施策の充実
- 15 その他（具体的に _____)
- 16 わからない
- 17 特に優先して充実すべき施策はない

問30 今後、地域福祉活動を進めていくためのご意見やご要望などがありましたら、自由にお書きください。

.....

権利擁護に関する制度について

問31 認知症や障害などの理由で判断能力が不十分な人の権利を守る「成年後見制度」についておたずねします。あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つだけ)

- 1 どのような制度か大体知っている
- 2 どのような制度か少し知っている
- 3 制度の名称は聞いたことがあるが、どのような内容かは知らない
- 4 まったく知らない

※ 成年後見制度とは、認知症の高齢者や知的障害、精神障害があるなどの理由で、ご自分で物事を判断する能力が十分でない方の、権利や財産を守るための制度です。

問32 厚生労働省は、一定の研修を修了した一般の方に成年後見人として活動してもらう「市民後見人」を育成する方針を示しています。この市民後見人について、あなたの考えに最も近い者をお答えください。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1 研修内容や活動の条件次第では、市民後見人になってみたい
2 自分自身はなる気はないが、市民後見人という地域で支える仕組み自体は応援したい
3 自分自身はなる気はないし、関心もない
4 わからない |
|--|

問33 あなた自身やあなたの家族・親族が判断が十分にできなくなり生活に支障が生じた場合に、成年後見制度を利用したいと思いませんか。①あなた自身の場合、②あなたの家族や親族の場合、それぞれについてお答えください。(①・②それぞれに○は1つだけ)

①あなた自身の場合	②あなたの家族や親族の場合
1 利用したい →【問 33-1】へ	1 利用したい →【問 33-1】へ
2 利用したくない →【問 33-2】へ	2 利用したくない →【問 33-2】へ
3 わからない	3 わからない

問 33-1 問 33 で「1 利用したい」を選んだ人におたずねします。

●後見人には誰になってもらいたいですか。(①・②それぞれに○は1つだけ)

①あなた自身の場合	②あなたの家族や親族の場合
1 親族(親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他)	1 あなた自身
2 専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士など)	2 親族(親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他)
3 法人後見	3 専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士など)
4 市民後見人	4 法人後見
5 その他	5 市民後見人
	6 その他

問 33-2 問 33 で「2 利用したくない」を選んだ人におたずねします。

●「成年後見制度」を利用したくない理由は何ですか。

(①・②それぞれに、あてはまるものすべてに○)	①あなた自身の 場合	②あなたの家族 や親族の場合
1 後見人でなくとも家族がいるから		
2 費用がどれくらいかかるか心配だから		
3 家庭裁判所に申し立てることに抵抗があるから		
4 手続きが大変そうだから		
5 後見人になってほしい人が見当たらないから		
6 他人(家族を含む)に財産などを任せることに不安があるから		
7 家族・親族との信頼関係が崩れる恐れがあるから		
8 どのときに利用したらいいのかわからないから		
9 その他 (具体的に)		

問34 あなたのまわりに成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。(○は1つだけ)

1 いる	2 いない	3 わからない
------	-------	---------

問35 成年後見制度について相談できるところをご存じですか。(あてはまるものすべてに○)

1 弁護士・日本司法支援センター（法テラス）
2 司法書士・公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート愛知支部
3 社会福祉士・権利擁護センター「ばあとなあ」
4 安城市後見支援センター（安城市社会福祉協議会）
5 家庭裁判所
6 市役所 市民相談（法律相談など）
7 市役所 高齢福祉課
8 市役所 障害福祉課
9 地域包括支援センター
10 介護支援専門員（ケアマネジャー）・居宅介護支援事業所
11 相談支援専門員（障害）・障害相談支援事業所
12 知らない

問36 後見人等の役割について、後見人等の役割であると思うものと、後見人等の役割として望むものを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

(①・②それぞれに、あてはまるものすべてに○) ※後見人等の役割ではないものも含まれています。	①後見人等の役割 であると思うもの	②後見人等の役割 として望むもの
1 日常的な生活費の管理に使用する預貯金口座の管理		
2 公共料金、税金、その他の利用料等の支払い		
3 食品、衣料品、日用品物品の購入の支援		
4 定期的な収入（年金、生活保護費、各種手当）の受領確認		
5 預貯金の入出金、現金出納簿の記入		
6 居住環境、近隣関係に関する配慮等		
7 財産関係の預かり品、通帳、現金等の管理		
8 保険に関する事務		
9 税金（所得税や住民税）の申告		
10 遺産分割、相続の承認や放棄等、相続に関する事務 （被後見人等の相続時）		
11 財産の処分		
12 入院や入居時の身元保証人		
13 手術時の医療同意		
14 緊急時の駆けつけ		
15 結婚、養子縁組		
16 死後事務（遺体の引き取り及び火葬等、被後見人等の 資料費等の支払いなど）		

非行や犯罪をした人の立ち直りについて

問37 あなたは、非行や犯罪をした人の立ち直りに協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------|-------------------------------|-------------|
| 1 保護司 | 6 教 誨 師 <small>きょうかいし</small> | 10 少年警察協力員 |
| 2 更生保護女性会 | 7 篤志面接委員 <small>とくし</small> | 11 いずれも知らない |
| 3 協力雇用主 | 8 少年補導員 | 12 その他 |
| 4 BBS会 | 9 少年指導委員 | (具体的に) |
| 5 更生保護施設 | | 13 わからない |

問38 非行や犯罪をした人の立ち直りのために必要だと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 住まいの確保の支援 | 6 人とのつながり |
| 2 就労への支援 | 7 その他 |
| 3 就学への支援 | (具体的に) |
| 4 経済的な支援 | 8 支援は必要ない |
| 5 地域住民の理解 | |

問39 あなたは、非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------|---|--------------|
| 1 思う | } | → 【問 39-1】 へ |
| 2 どちらかと言えば思う | | |
| 3 どちらかといえば思わない | } | → 【問 39-2】 へ |
| 4 思わない | | |
| 5 わからない | | |

問 39-1 問 39 で「1 思う」または「2 どちらかと言えば思う」を選んだ人におたずねします。

●どのような協力をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1 保護司になるなど、非行や犯罪をした人に直接会って継続的に助言や援助をする
※保護司……犯罪や非行をした人の立ち直りを支えるため、保護観察や生活環境の調整を行う民間のボランティア | |
| 2 協力雇用主として、犯罪をした人を雇用する
※協力雇用主……犯罪前歴を承知の上で雇用に協力する事業主 | |
| 3 更生保護施設にお金や品物を寄付する
※更生保護施設……出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設 | |
| 4 再犯防止に関するボランティア活動に参加する | |
| 5 犯罪予防や更生保護に関する広報・啓発活動に参加する | |
| 6 犯罪予防や更生保護に関することを学ぶ | |
| 7 その他 (具体的に) | |

問 39-2 問 39 で「3 どちらかといえば思わない」または「4 思わない」を選んだ人におたずねします。

●協力したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分や家族の身に何か起きないか不安だから
- 2 非行や犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから
- 3 非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから
- 4 自分自身にメリットがないから
- 5 具体的なイメージがわからないから
- 6 時間的余裕がないから
- 7 興味がないから
- 8 非行や犯罪をした人への支援などは国や地方公共団体が行うべきだから
- 9 非行や犯罪をした人に支援などするべきではないから
- 10 その他（具体的に)
- 11 わからない

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

